

## 事前評価個表

整理番号	8
------	---

地域（地区）名	<small>なかがわ</small> 那珂川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	栃木県	対象市町村	<small>おおたわら</small> 大田原市ほか8市町
事業実施期間	R3年度～R7年度（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地域は栃木県の北東部に位置し、北は福島県、東は茨城県、南は鬼怒川森林計画区に接する地域で、5市4町からなり、総土地面積は233千haで県土の36%を占める。</p> <p>本地域の森林面積は132千haで森林率は57%であり、このうち民有林が90千haで森林面積の68%を占める。</p> <p>民有林のうち、人工林は48千haで民有林の53%を占め、この9割はスギ・ヒノキであり、西部の高原地域、北東部の八溝地域を中心に素材生産が広く行われている。民有人工林の齢級構成はピークがⅫ齢級となっており、利用期を迎えた林分の皆伐が増加傾向にある。また一方で、間伐等を要するⅣ～Ⅻ齢級の林分が63%を占めているが、林業採算性の低迷等により必要な施業の遅れが生じている状況にある。</p> <p>このため本事業では、皆伐実施箇所における再生林、下刈り及び除伐を適正に実施するとともに、Ⅳ～Ⅻ齢級（森林経営計画に基づく森林についてはスギⅩⅣ齢級、ヒノキⅩⅥ齢級以下）の林分については森林施業の集約化や路網整備を通じて施業の低コスト化を図りつつ、計画的に搬出間伐等を実施する。</p> <p>本事業の実施により、水源涵養機能、山地災害防止機能等といった森林の有する多面的機能の高度発揮を図り、本地域における森林環境の保全を図るとともに、二酸化炭素の吸収による地球温暖化防止に寄与することを目的とする。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：9,988ha</p> <p style="padding-left: 40px;">人工造林、下刈り、枝打ち、保育間伐、間伐、更新伐、衛生伐等</p> <p>路網整備：林道開設 延長1,540m</p> <p>総事業費：4,569,602千円（税抜き 4,154,184千円）</p>
費用便益分析結果	<p><math>B/C = 3.60</math></p> <p>（総便益（B）=28,312,261千円、総費用（C）=7,857,028千円）</p>
評価結果	<p>必要性：森林整備が必要な森林が多く存在することから、森林の多面的機能を高めるためにも必要性が高い。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：計画的な森林整備により、水源涵養機能、山地災害防止機能、二酸化炭素吸収機能等の高度発揮はもとより、木材等生産機能も確保されており有効である。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：栃木県

地域(地区)名： なかがわ  
那珂川

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	8,219,446	
	流域貯水便益	1,968,139	
	水質浄化便益	7,482,549	
山地保全便益	土砂流出防止便益	5,380,506	
環境保全便益	炭素固定便益	2,425,192	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	2,796,789	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	31,454	
災害等軽減便益	防火帯便益	8,186	
総 便 益 (B)		28,312,261	
総 費 用 (C)		7,857,028	
費用便益比	$B \div C = \frac{28,312,261}{7,857,028} = 3.60$		

# 森林環境保全整備事業 那珂川地域(栃木県)

